

令和6年度 6月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年6月21日(金)
- ◎開催日時 令和6年6月26日(水) 午後3時15分～午後4時40分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、黒河内教育委員、宮坂教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・小学校の春の運動会について、予定していたとおり実施できた。教育委員の皆さんには、それぞれ学校へ足運んでいただきお礼申し上げます。
- ・この1ヶ月、皆さんに助けられて今日まで来られたと思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

3 委員のひと言 教育長職務代理者

- ・7月3日には市町村教委連の総会が伊那市で行われるということで、情報をいくつか用意してきた。
- ・1つ目の資料は、高遠城址公園の特徴的な建物や碑を示している。会場の高遠閣は登録有形文化財であり、池上秀敏氏以下4名の寄付によって昭和11年に建築されたものである。芙蓉峰は床の間のサイズに合わせて池上秀敏が制作したもので、進徳館の日に限定公開されており、今回は見らないが、代わりに秀敏の高遠城の絵のレプリカを用意いただける。
- ・歴代の高遠城主に係る資料は、武田氏の関係、その後織田によって落城した後、関ヶ原の戦いがある江戸時代に移っていく。「内藤新宿」は、内藤氏が馬で駆け回ったその範囲を内藤家に頂けるといって広大な土地を与えられたが、実際には甲州街道と青梅街道に繋がる江戸の要衝を信頼のできる家来に固めさせたいという思いがあったとされる。
- ・内藤家の内藤頼博様は、東京大学在学中に司法試験に合格して判事、裁判官、弁護士を務めた有能の方だった。昭和15年にニューヨークの家庭裁判所を視察し、翌年、日米開戦となる時代の中で、①裁判所なのに建物が明るくて入りやすい。②医師がいる医務室がある。③女性が働いている。④訪れてくる人に丁寧であることを、司法のあるべき姿として「法律新法」に掲載した。
- ・朝ドラ「虎に翼」は女性初代の判事の物語で、殿様判事として「ライアン」が登場している。以前、進徳館の日に元最高裁判事的那須弘平先生の講演の中で、内藤家の若殿と最後の枢密顧問官、伊澤多喜男先生の話があり、この殿様判事は内藤頼博様ではないかと思ったら、その通りだった。今後、注目されると思い紹介した。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・6月1日は伊那東小学校、富県小学校の運動会、引き続き片岡鶴太郎さんの講演会があった。
- ・運動会では、校長先生が「みんなが今日まで頑張ってきた姿を私が一番よく知っている。」というあいさつからスタートした。先生たちの笑顔、そして子どもたちの笑顔が忘れられない、また、支援員の皆さんは、お子さんに寄り添い、全校の運動会に参加できる、縁の下の力持ち

として助けてくださる姿に感激した。

- ・片岡鶴太郎さんの講演会は、高遠との出会い、そして絵を始めたきっかけについて、一輪の椿の花を何とか表現したいが詩人でもないので言葉には表せない。何で表現できるのか考えた末にたどり着いたのが絵で、その後、何枚も描いた。
- ・ヨガに係り、1日の生活リズムの中で早く寝て、朝早い。伊那に来る時は、いつもより早く起きないと間に合わない、そんな生活をしているという話もあった。
- ・6月4日には能登半島の地震災害派遣報告会で話を聞く中で、半年経っても本当に変わっていないことを実感した。現在、学校教育課の松田係長と生涯学習課の杉山主事が能登で復興支援に当たってくれている。以上報告に代えさせていただきます。

第2 議案

(1) 伊那市美術館協議会委員の委嘱について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第3 報告事項

(1) 児童生徒数見込みについて

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(2) 中学生の自習室2024夏の実施について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長から「各学校へ周知して、大勢の参加が得られるようにお願いしたい。」との意見があった。

(3) 学校法的相談支援体制について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「三浦由美弁護士が選任された理由はどうか。」との質問があり、学校教育課長から「学校法的相談体制について、伊那市の顧問弁護士の長谷川先生に相談させていただく中で、先生からご推薦いただいたことによる。」旨の回答があった。
- ・教育長から「県では今年度からスクールロイヤー制度を導入する中で、いち早く伊那市は市単独で始められることはありがたいことと感じている。実際に運用していく中で、課題があれば臨機応変に組み直していくことも必要であると感じている。」旨の補足があった。

(4) 部活動の地域移行の進捗状況について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「アンケートは、児童生徒、保護者、先生、地域の指導者などがあると思うが、誰に対してのアンケートか。」旨の質問があり、指導主事から「小学校5、6年生の児童、中学生の生徒、保護者、学校に対してもアンケートを実施する予定である。」旨の回答があった。

(5) 長期休業特別学童クラブの開設について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「使用料について、通常学童クラブに入所している児童も、特別学童クラブのみ利用する児童も、基本的には同じ額であり、集金方法が違うという認識でよいか。」との質問があり、生涯学習課長から「その通りである。」旨の回答があった。

(6) 令和6年度伊那市二十歳のつどいについて

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長から「竜東地区は大きい地区であるが、招待される恩師は1人のみとなっている。何か理由はあるか。」との質問があり、生涯学習課長から「人選については各地区の事務局で調整している。理由については確認する。」旨の説明があった。

(7) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「『あけぼの』の指導案集は大変力を入れて作っており、優れたものだと思う。道徳の教科書が入ってきて、道徳の時間にも取り入れて、指導計画全体の中での活動はこれから考えるということであり、今までの良さを生かすとともに、教育課程全体のバランスを考えて実施いただきたい。とても大事なことだと思う。」旨の意見があった。

(8) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「コロナ禍で『伊那市の学びを止めない』活動は積極的に行ったと思うので項目としてもよいかと思うが、如何か。」との質問があり、市誌編さん室長から「項目は1から14まであり、その時々の中で細かい部分が入ってくる予定であり、その部分は重点的に扱うものと承知している。細かな項目案の中には入ってくるので、そういう形で進めたい。」旨の回答があった。
- ・教育長から「その場合、所々に入るイメージか。」との質問があり、市誌編さん室長から「3月末に臨時休校となり、リモート授業が始まったように記憶している。学校現場については教育会でもまとめたものがあり参考にしていく。取りまとめにあたっては学校教育課にも協力をいただきたい。」旨の回答があった。

(9) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(10) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明

6 閉会